

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		多機能型児童発達支援アルカラ		公表日		2025年 3月 13日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点	
環境 制 運 備 営	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	4		適宜必要な教具・教材を作成・購入している。	教具・教材の作成には時間がかかる傾向がある。そのため、必要な物品を揃えたり、業務の効率化を進めることで、教具・教材の作成時間をより確保できるよう対応していきたい。	
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	4		2024年に職員を増員したことで、待機状況は改善された。		
業 務 改 善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4		業務が多忙なため、PDCAのタイミングが遅れることがある。しかし、チャットツールの活用や定期ミーティングの開催により、全職員が参画できている。	業務効率化を図り、適切なタイミングでのPDCAサイクルに繋げる。	
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		組織づくり、DX化、職員教育、支援検討会などを通じて、適宜業務改善を行っている。	今後は、今年度から開始した保護者向け評価の内容を踏まえ、さらなる業務改善を進めていく。	
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		チャットツールの活用や支援会の実施、個別の相談機会の確保を行っている。	職員がそれぞれ訪問に出ているため、必要なタイミングで意見を把握できないことがある。今後は、より相談しやすい仕組みづくりを進めていく。	
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		4		必要に応じて、第三者による外部評価の実施を検討していく。	
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4		育成計画に基づいた法人内での研修の実施や、外部研修についても共有して参加を促している。	今後は、オンライン・オフラインを問わず社内研修の機会を増やし、職員の資質向上に努めていく。	
適 切 な 支 援 の 提 供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	4		事業所内でアセスメント方法をすり合わせ、ニーズや課題が適切に把握できるようにしている。	ADOC-Sなど、子どもや保護者のニーズ・課題をより客観的に分析できるツールを、各スタッフが利用しやすいよう環境を整備していく。	
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4		子ども家庭庁などの資料を共有し、『子どもの最善の利益』の考え方について学んでいる。	今後は、『子どもの最善の利益』に関する考え方を学ぶ機会をさらに増やしていきたい。	
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	4		支援会の段階では、先生方も連携の方法を具体的にイメージしにくく、明確な意向が出にくい傾向がある。	訪問支援との連携方法をより分かりやすく伝えることで、早い段階で先生方の意向を汲み取れるよう工夫していく。	
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	1	ABC分析や氷山モデルを軸に、フォーマル・インフォーマル双方のアセスメントを実施している。	就職したてのスタッフではまだ未実施のツールがあるため、教育を進めていく。	
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	4		保育所等訪問支援のガイドラインが公表された後、全職員でガイドラインを読み込み、『保育所等訪問支援で提供すべき具体的な内容』について共通認識を持つよう努めた。		
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4		訪問するスタッフに保育所等訪問支援計画が共有されている。また、計画・経過・PDCAが適宜共有・修正されるよう、日報の形式を調整している。		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。		4	契約後や支援開始前には、評価や支援方法の検討を行っている。チームで連携を図りながら支援を進めている。	担当制で訪問を行っているため、その日の支援における具体的な役割分担は設定していない。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4		日々のミーティングや対面相談、日報ツールを活用し、支援内容の振り返りや気づきの共有を行うよう努めている。		
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	4		社内の行動指標として、まず現場や相手の理解から始めることを規定し、教育を進めている。事業所として、相手の文脈に沿った支援を心がけている。		
18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	4		担当者が記録を行い、チャットツールや日報システムを活用して共有・相談を行うことで、支援の検証・改善に努めている。	記録が煩雑になっているため、記録方法の調整やツールの調整を行なっていく。		
19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4		訪問時に適宜、訪問先の状況や意向を確認するとともに、保護者への報告のタイミングで保護者の意向も確認している。	保護者が多忙で連絡がつきにくいことがあり、意向の確認が難しい場合がある。		

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4		管理者・児童発達支援管理責任者に加え、必ずそのお子さんの担当者も参加するようにしている。	
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4			地域によっては連携先とのつながりが乏しい場合があるため、密な連携を図るために、関係機関とのつながりを広げていきたい。
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4		月から3月にかけて、来年度への移行方法について保育所や学校と検討するようにしている。	
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	4		可能か限り、参加するようにしている。	今後も業務の効率化を進め、外部研修などにより参加しやすい環境を整えていきたい。
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	1	3	開催されている子ども部会には参加するように努めている。	一部スタッフが参加するのみなので、機会があれば他のスタッフも参加するようにしたい。
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4		訪問ごとの報告・連絡を通じて、子どもの発達状況や課題を適宜共有し、共通理解のもとで支援を進めるようにしている。	
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		4		今後、ペアトレの提供や、公式LINEを活用した家族支援プログラムの情報共有を行なっていく。
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4		利用者負担や運営規定の変更がある場合、書類の押印だけでなく、公式LINEを活用して変更点をわかりやすく説明するよう心がけている。	
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	4		保育所等訪問支援事業は認知度が低く、理解しにくい側面があるため、ホームページを改修し、制度の概要や目的、効果がより分かりやすく伝わるよう工夫した。	
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4		本人や保護者の意向を確認し、その意思を尊重するとともに、子どもの最善の利益を優先的に考慮する視点を大切にしている。	今後は、ADOC-Sなどのツールを活用しやすい環境を整え、本人や関係者の意思や希望がより伝わりやすくなるよう努めていく。
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	4		専門用語はなるべく控えて、保護者が分かりやすい言葉で説明するようにしている。	時間が限られる中で、慌ただしく情報共有を行ってしまう場面があるため、事前に書面で共有するなどの工夫を取り入れていきたい。
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	4		訪問後の保護者への報告の際に相談を受けることが多いため、適宜必要な助言や支援を行うとともに、状況に応じて面談へ移行するようにしている。	
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。		4		保護者同士やきょうだい同士の交流機会を設ける支援は、現時点では実施できていない。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4		そのように対応している。	
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。		4	ホームページや公式LINEを通じて、概要や連絡体制などを確認できるようにしている。	定期的な発信は実施していない。
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4		個人情報使用同意書において、個人情報の取り扱い方法を明確に規定するとともに、社内では秘密保持契約書を交わし、情報の取り扱いについて厳密な管理を行っている。スマホのセキュリティ設定も実施している。	
36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4		対面、電話、LINEなどを活用するとともに、文字やイラストなど相手に伝わりやすい方法を検討し、こどもや保護者の状態に応じた対応ができるようにしている。		
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	4		その都度、現場で協議・検討を行うとともに、現場の体制を踏まえ、適宜コーディネーターや管理職とも連携を図るようにしている。その中で、相談に応じながら、必要な助言や支援を行うよう努めている。	現場だけでは対応が難しい課題に対しては、家庭・医療・その他関係機関と連携を図っており、今後はよりスムーズな連携体制の構築に努めていく。
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	4		訪問先の流れを崩さないよう、現場の都合に合わせて話し合いを行っている。	
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	4		あらかじめ保護者の希望を確認し、電話・LINE・面談などを活用して情報共有を行うようにしている。	なかなか連絡がつかない場合は、LINEなどの非同期ツールに切り替えるなど、保護者の状況に合わせて適宜ツールを調整していく。
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	4		社内で、場や状況の理解、他者理解、礼節を守るといった行動指標を共有し、信頼関係の構築を心がけながら、専門的な助言を行うようにしている。	

非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	マニュアル作成、職員間での周知などは行なっていますが、保護者への周知がまだ不十分な状況なので、今後周知を行なっていく。	周知は3月末に行う予定。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	適宜、安全計画の作成・修正を行うとともに、研修や訓練を実施している。	新しいスタッフへの共有を即時行うよう仕組みを整えていく。
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	ヒヤリハットに関する組織体制を整えるとともに、報告書の入力フォームを作成し、適宜共有・対応できる環境を整備している。	
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	研修機会を確保するとともに、研修に参加したスタッフが情報共有を行う機会を設け、事業所全体で対応できるようにしている。	
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4	身体拘束に関する会議、研修、検討を行っている。しかし、保育所等訪問支援において事業所側が身体拘束を実施する場面はないため、個別支援計画書には記載していない。	